

極濃緑で、酷暑期でも高い収量が維持できるコマツナです!

みすい  
**美翠** コマツナ

夏場のコマツナ栽培は、生育期間が3週間程度と非常に短い期間で行われています。

この時期の栽培で取り上げられる主な問題点としては、

- ①十分に株が張らないまま草丈だけができる
- ②葉色が十分に乗らない

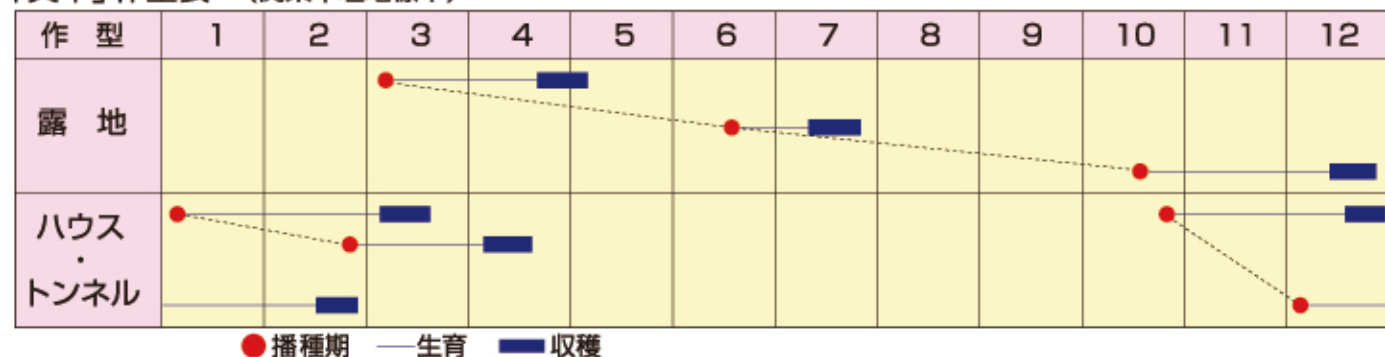
などが挙げられます。また、09年には夏季に白さび病が大きな問題になりました。

弊社がお勧めする「美翠」は、下記の点に特に強みを持っています。

- ①高温期でも徒長せずに株張りが良いので収量性が高い
- ②葉色が濃く、高温期でも色抜けしにくい
- ③白さび病に強い

また、ひげ根が極端に少ないために春秋の露地栽培でも作柄を安定させることができ、年間を通して根洗いなどの出荷調整作業を軽減することができます。

「美翠」作型表 (関東平坦地標準)



栽培の注意点

- ①「美翠」は白さび病に強い耐病性をもっていますが、圃場によっては発病することがあります。特に従来の耐病性品種を栽培して激発するようであれば、あらかじめ殺菌剤の施用をおすすめします。
- ②真夏の栽培は畑の状態、灌水の仕方ひとつで同じ品種でも出来ばえに大きく差がでます。「美翠」の秀品収穫のためには、播種前の十分な灌水と鎮圧を徹底すること、株間と条間を広くとり、採光性と通気性をよくする必要があります。



「美翠」(写真左)  
他社品(M種)と比較しても株張りに優れる



「美翠」のひげ根の様子 (写真左)

清水慶治郎様～東京都葛飾区～  
「細根の少なさが大きな魅力のひとつ」

みすい  
**美翠** コマツナ

コマツナの発祥地・小松川地区に隣接する葛飾区では、コマツナの周年栽培が行われており、ハウス栽培が主流です。農林水産省の統計によると平成18年の栽培面積は45ha、出荷量は830tとなっています。



葉柄がしなやかな「美翠」は結束作業もスムーズに進む

清水様からは、「軸がしなやかで結束しやすいし、ひげ根が少ないので、根の洗浄作業が簡単だね。学校給食用としても出荷をしているけど、筋っぽさが少なく、食味の面でも評価はいいです。白さび病やイオウ病に対して耐病性を持っていることも「美翠」の魅力」と評価のお言葉を頂戴しています。



葉色が濃く、生育揃いの良い「美翠」

対象品種 **美翠**  
5月中旬蒔き ハウス栽培 (6月15日撮影)